

ニンテンドー3DSの機能をフル活用して地球の不思議を体感！ 『Earthpedia』(アースペディア) 4月19日発売決定

数量限定特典は一般入手不可能の「ツキの砂ボールペン」

株式会社学研ホールディングスのグループ会社、株式会社学研教育出版(東京・品川 須摩春樹社長)では、ニンテンドー3DS専用ソフト『Earthpedia』(アースペディア)を2012年4月19日(木)に発売いたします。1月10日(火)より予約受付を開始しました。

まだ見たことのない、地球の不思議を体感できる 知的エンターテインメントゲーム

『Earthpedia』(アースペディア)では、「地球体感」をキーワードに、今までにない新しい発見と驚きを体験できます。本ソフトは、プレイヤーが地球外知的生命体探査を行う国際機関のエージェントとなって、地球や宇宙の神秘や驚異、人類の叡智に関する情報を収集していく、知的エンターテインメントゲームです。

特長1:「i-GEAR」で地球を体感せよ!【AR(拡張現実)、ジャイロセンサー、3Dなど】

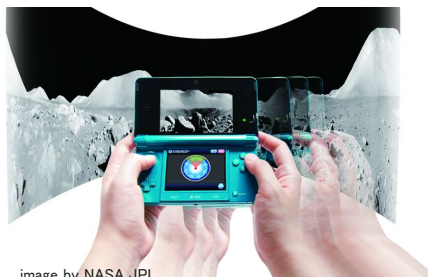


image by NASA JPL

↑ジャイロ・モーションセンサーで
まるで月面散歩を体感



↑ARで世界最大の蛾が手のひらに出現

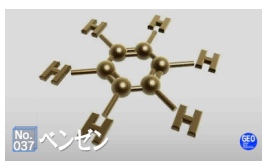


↑銀河衝突のシミュレーション映像
を3Dで体験

10種類の地球体感ツール「i-GEAR」(アイギア)で、今まで体験したことのない新しい感動体験ができます。ARカードを使って、手の上にリアルサイズの生物を出現させたり、ジャイロ・モーションセンサーを使って、まるで月面や世界遺産にいるような体験ができます。さらに月の誕生や銀河衝突などの貴重なシミュレーション映像を裸眼立体視でお楽しみいただけます。

※本ソフトのAR(拡張現実)には、株式会社コンセプトのミドルウェア「Qoncept AR Engine for Nintendo 3DS」を使用しています。

特長2: 自然・文化・科学・宇宙まで、幅広いジャンルをカバー



Credit: NASA Planetary Photojournal

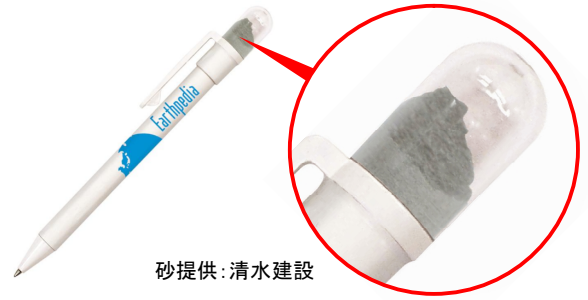
「Nature(自然)」「Culture(文化)」「Science&Technology(科学)」「Space(宇宙)」「Supernatural(未確認情報)」の5ジャンルに分類された情報を収集しながら、知っているようで知らなかった地球の不思議や神秘を発見できます。図鑑や事典とはひとあじ違う「知る」喜びを体験してください。

●数量限定特典「ツキの砂ボールペン」

「ツキの砂」は、アポロ計画で持ち帰られた月の砂の性質を分析して作られた、月の疑似砂で、さまざまな宇宙開発に使用されています。

※一般入手不可能のツキの砂を使ったスペシャルな特典は、数に限りがあります。

※詳細は別紙の(参考2)の資料をご参照ください。



砂提供: 清水建設

● GIZMODO×Gakken☆『Earthpedia』発売記念イベント！

「ここでしか聞けない宇宙の話」を開催。ゲーム試遊や宇宙服展示もあり



国立天文台 渡部潤一教授

1月26日(木)19時より、ギズモード・ジャパンと共催で発売記念イベントを開催します。

一般から広く募集した宇宙に関する疑問を、国立天文台 渡部潤一教授にお答えいただくほか、「宇宙生命は存在するか ～天文学からのアプローチ～」をテーマにした講演、『Earthpedia』試遊体験、着用&記念撮影可能な宇宙服の展示やツキの砂の展示を予定しています。



協力: (財)日本宇宙フォーラム

イベントの詳細・お申込みはこちら <http://www.gizmodo.jp/2012/01/gizmodogakken.html>

※ 席に限りがございます。応募が多数の場合は抽選となります。

※取材については別途お問い合わせください。

このほか、本タイトルのプロモーションは当社媒体はもちろん、さまざまな媒体で展開していく予定です。

2012年1月10日

【商品概要】

想定ユーザー : 一般

発売元 : 株式会社学研教育出版

発売予定 : 2012年4月19日(木)

予価 : 4,980円(税込)

CERO : 教育・データベース

販売ルート : 主要ゲーム販売店

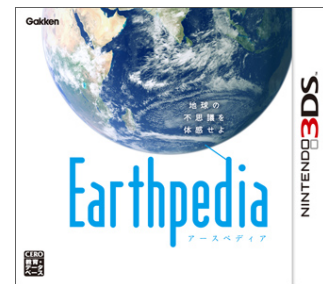
★公式サイト ※ゲーム体験版、インタビュー映像など公開中

PC <http://www.gakken.jp/dc/ds/earthpedia> モバイル <http://www.gakken.jp/dc/ds/keitai/earthpedia>

★ソーシャルメディア ※プレゼントキャンペーン開催中

【Twitter】 <http://twitter.com/Earthpedia> 【Facebook】 <http://www.facebook.com/Earthpedia>

【YouTube】 <http://www.youtube.com/user/earthpedia>



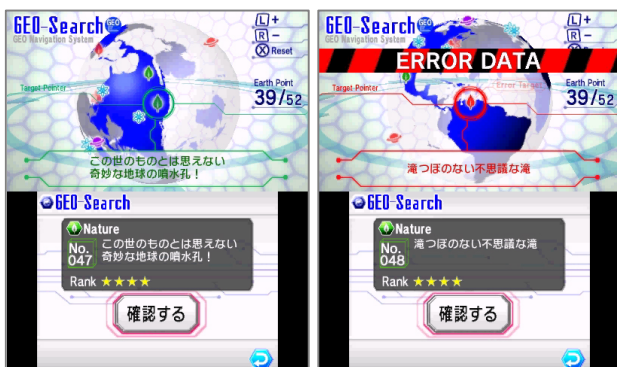
<本件に関するお問い合わせ>

株式会社学研教育出版 デジタルコンテンツ開発・販売室

〒141-8413 東京都品川区西五反田 2-11-8 TEL.03-6431-1409 FAX.03-6431-1794

担当: 毛利優花 (infodc@gakken.co.jp) URL: <http://www.gakken.jp/dc/>

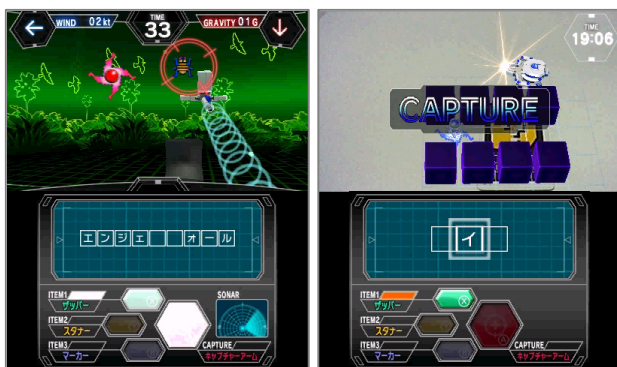
※ニンテンドー3DSのロゴ、ニンテンドー3DSは任天堂の商標です。



●GEO(ジオ)サーチ

(左)GEO サーチ上に現れたアースポイントを選択して、情報を収集します。

(右)集める情報の中には、情報寄生ウイルス「デジバグ」によって破壊されているものがあります。「破損情報」は、デジバグを捕獲して正常化しましょう。



●デジバグ捕獲ゲーム

(左)GEO サーチで収集した破損情報を正常化します。デジタルの仮想空間に隠れているデジバグを探し出し、探査機のアームを発射して捕獲します。

(右)AR カードを使用して、現実世界に逃げ出したデジバグを捕獲するミッションです。ミッションに成功すると、GEO サーチ上には現れない情報を収集することができます。



●データベース「Earthpedia」

GEO サーチやAR サーチで収集した情報は、Earthpedia の中に格納されます。数百種類にわたるすべての情報を収集して Earthpedia を完成させることが、あなたの任務です。収集する情報は、「自然」「文化」「科学」「宇宙」「未確認情報」の5つのジャンルに分類されています。



●地球体感ツール「i-GEAR」

Earthpedia の中に格納される情報の中には、地球体感ツール「i-GEAR」がついているものがあります。ジャイロ・加速度センサーを利用して上下左右すべての方向を見渡すことができる風景、AR(拡張現実)技術による実物大で飛び出す生き物、3D 画面で観る貴重な科学映像など、ニンテンドー3DS 本体の機能をフル活用した 10 種類のツールによる新しい感動体験です。

（参考2）ツキの砂について

「これは一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては偉大な飛躍である」——1969年、月面に降り立ったアポロ11号のアームストロング船長が残した有名な言葉です。彼らは月面に自分たちの足跡をクッキリと残してきました。

一般に月の砂、月の土と言われるのは「月レゴリス」というもので、岩石由来の粒子や微小天体の衝突によってできたガラス片などのことを指します。月の表面にはこの月レゴリスがふんわりとゆるくたい積しているので、足跡がつきやすいのです。また、大気がない月では風も吹かないので、今でもアポロ宇宙飛行士の足跡が消えずに残っているはずです。

ところでこの月レゴリスは、大気や水のない月面では風化や磨耗が起きないため、表面はトゲトゲ、ギザギザしています。そのため、宇宙船や機械など、あらゆるもののすき間に入り込んで、誤作動や障害を引き起こします。振り払おうとすれば静電気が起きてなおさら付着しますし、宇宙飛行士が吸い込むとどのような症状を引き起こすかわからない、厄介なものなのです。

月土壌シミュラント—通称「ツキの砂」は、様々な月探査ミッションで使用される各種探査機器がそのような月面の環境に対応して設計・開発されることを一つの目的として、月面環境を再現するために月レゴリスを模して作り出されたものです。

ツキの砂の原料には、月土壌の鉱物組成に最も近い火山の溶岩を使用します。しかも、大気に触れずに火口から地中に流れ込んだ伏流溶岩流を採取します。月にはいない人や生物がつくりだす有機物や人工的な化学物質が混ざらないようにするためです。原料を砂状に粉砕して粒度調整をする工程でも、大気から汚染物質が混ざったり、有機性のガスなどと触れることがないように管理しています。さらに月の表面には水分も無いので、粉砕後は加熱して水分を取り除きます。こうしてできたツキの砂は、形と性質といいまさに月の砂そのものといえます。

協力: 清水建設

『Earthpedia』には、クレーターや月の誕生、月の砂など、身近なのに意外と知らない月に関する情報もたくさん収録されています。『Earthpedia』と数量限定特典「ツキの砂ボールペン」で、そんな月に想いを馳せてみてはいかがでしょうか。



Credit: NASA

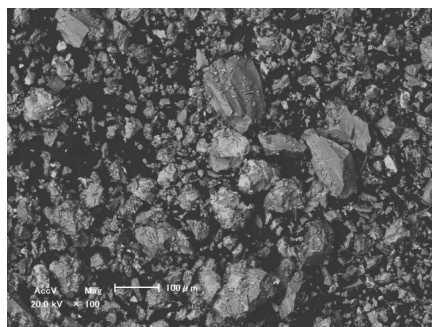


写真: 清水建設



地球の砂（左）とツキの砂で作った砂時計。地球の砂はサラサラと流れるが、月の砂は流れるというより崩落する。粒の表面が互いに引っかかり安いため、砂時計の穴の上にはアーチ状の空間ができる。写真: 清水建設